令和８年 10 月 14 日

報道関係各位

公益財団法人水戸市芸術振興財団

「第 36 回吉田秀和賞」贈呈式 ご取材のお願い

平成２年に創設されました吉田秀和賞は、優れた芸術評論を発表した人に対して賞を贈呈し、芸術文化を振興することを目的として当財団が運営しております。

第 36 回目となりました今回、審査委員の片山杜秀氏と堀江敏幸氏が、厳正に審査を行ない、**今村信隆氏の『「お静かに!」の文化史　ミュージアムの声と沈黙をめぐって』（文学通信 2024 年 11 月刊）、『「お静かに！」の誕生 近代日本美術の鑑賞と批評』（文学通信 2025 年 7 月刊）**を受賞作品として決定いたしました。

つきましては、賞の贈呈式を下記のとおり開催いたしますので、ご多用のところとは存じますが、ご取材くださいますようお願い申し上げます。

記

日　時　：　令和 8 年 10 月 24 日(土)13 時～14 時
（プレス受付：12 時 30 分～）
会　場　：　水戸芸術館　会議場
内　容　：　表彰状の授与／講評／受賞者あいさつ　ほか
受賞者　：　今村 信隆（いまむら・のぶたか）
肩書き　：　北海道大学教授





「吉田秀和賞について」は別紙をご参照ください。



［著者略歴］
北海道大学大学院文学研究院教授。放送大学客員教授。
1977 年、北海道生まれ。北海道大学文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。
民間のバス会社で働いた後、札幌芸術の森美術館に勤務。その後、京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）准教授、甲南女子大学准教授等を経て、現職。単著に、『一七世紀フランスの絵画理論と絵画談義』（北海道大学出版会、2021）、『「お静かに！」の文化史―ミュージアムの声と沈黙をめぐって』（文学通信、2024）、『「お静かに！」の誕生―近代日本美術の鑑賞と批評』（文学通信、2025）、編著に、今村信隆編『博物館の歴史・理論・実践 1～3』（藝術学舎、2017-2018）、今村信隆監修『文学館を旅する』（イカロス出版、2025 年）、共編著に『学芸員がミュージアムを変える！ - 公共文化施設の地域力』（水曜社、2021）、『プラス・ミュージアム―地域文化資源としての博物館論』（水曜社、2026）などがある。

【お問合せ】
公益財団法人水戸市芸術振興財団　吉田秀和賞担当　太田朝里
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1－6－8
TEL 029－227－8111　FAX 029－227－8110

≪取材申し込み≫

10 月 22 日（木）までに FAX または電話でお申し込みください。

FAX.029－227-8110

【御社名】＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【御芳名】＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　人数＿＿＿＿＿＿名

【連絡先】TEL.＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿